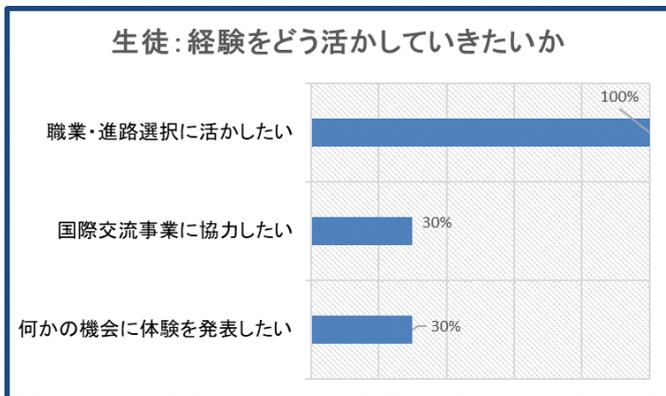
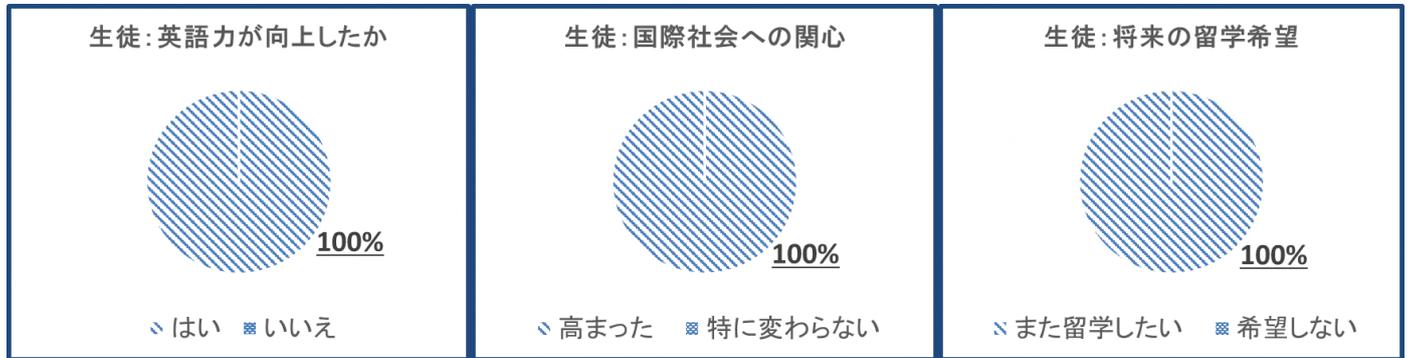


令和元年度（2019年度）高校生交換留学促進事業

—アンケート結果から見える事業効果—

■ 参加生徒へのアンケート（10名中）

10名中10名の生徒が、「英語力の向上」、「国際社会への関心の高まり」を実感し、「将来また留学したい」と回答。

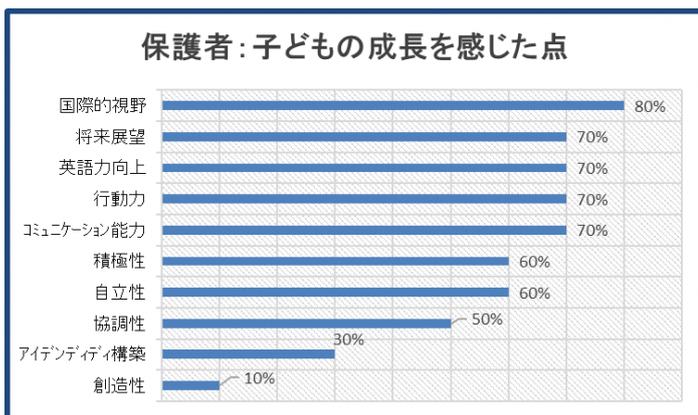
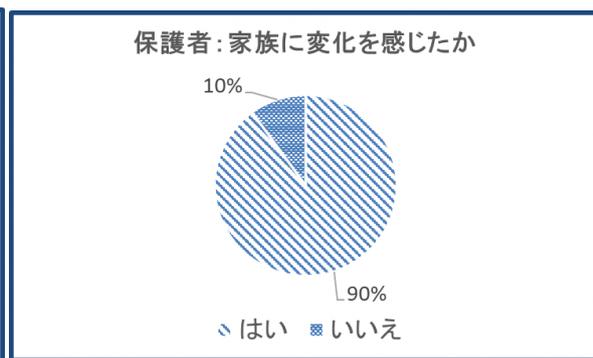
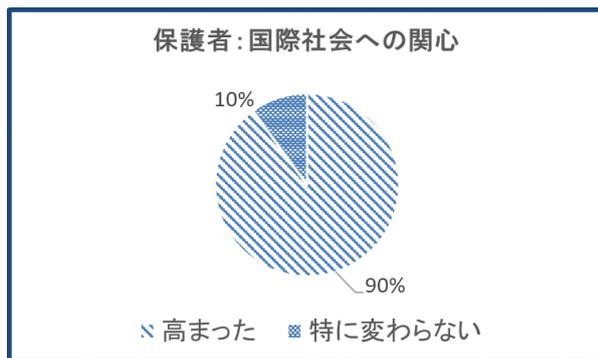


●参加生徒の感想●

- ・カジュアルな表現から丁寧な言い回しまで、様々な状況に対応できる英語力が身に付いた。
- ・自分の努力次第で語学力やものの見方、考え方が成長できることを実感でき、人として成長できたと思う。
- ・カナダは多文化社会なので、様々な国や考え方に触れることができ、より深く国際社会について学びたいと思った。

■ 保護者へのアンケート（10名中）

9割の保護者が、「国際社会への関心の高まり」と「受入による家族の意識等の変化」を実感。



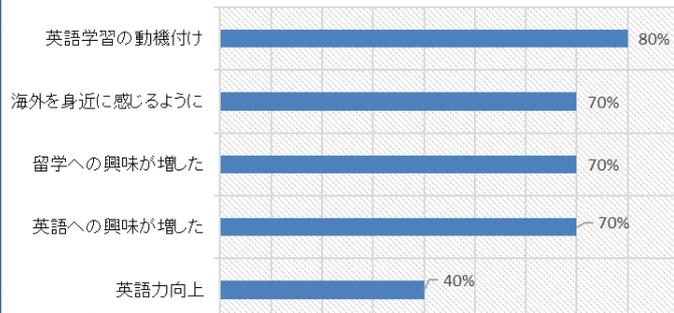
●参加保護者の感想●

- ・帰国後の子どもは、自分の行動がもたらす結果や成果を、より想像し意識するようになったと思う。
- ・子どもの将来に関することへの考え方が変わり、本当にやりたいことができる大人になってほしいと思うようになった。
- ・日本の良さに改めて関心をもつことができ、他人の価値観を受け入れ尊重できるようになった。

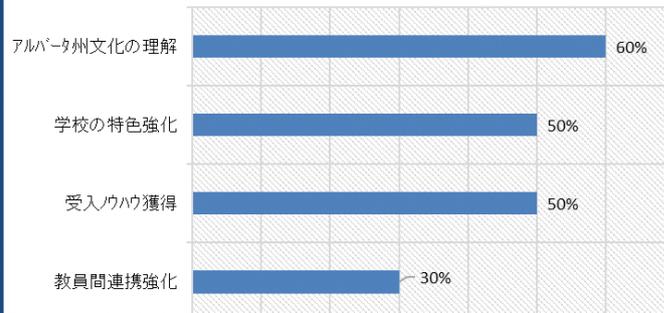
■ 留学生受入校担当教員へのアンケート（10名中）

7割以上の学校が、「留学や英語への興味が増した」、「英語学習の動機付けとなった」などの生徒への効果を実感。また、半数以上が「アルバータ州の文化について知るきっかけとなった」、「留学生受入のノウハウが身に付いた」などの学校への効果を実感。

教員：生徒への効果を感じた点



教員：学校への効果を感じた点



● 受入校教員の感想 ●

- ・ 生徒だけではなく、教員も留学生の受入に対し前向きになった。
- ・ 生徒間で積極的にコミュニケーションをとる姿が見られた。言葉の壁を越え、一人の人間として相手を受け入れているようだった。
- ・ 校内の国際交流への意識が高まり、協力してくれる教員が増えた。交換留学への理解が深まった。
- ・ 生徒や保護者にとって貴重な経験となり、生徒の進路設定に役立った。